



K中通信

学校だより第3号
令和5年5月19日
横浜市立軽井沢中学校

【学校教育目標】『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます。(知・徳・公)
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます。(体・開)

【ホームページ】 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

学んだことをどう生かすか

校長 佐藤 由利

5月に入り、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが変更される中、学校での教育活動も徐々に変化してきています。連休明け、各学年で校外学習が実施されました。今のところ1年生、2年生共にそれぞれのねらいに沿った宿泊行事を充実した形で終えることができ、残すところは、24日に出発が迫った3年生沖縄修学旅行のみとなりました。

各学年、それぞれに宿泊行事の目的は異なりますが、共通していることとして、「人との関わり(仲間同士及び、現地の方々)を通しての学び」ということがあります。特に1年生のPAは、「仲間づくり、より良い集団づくりに向けて」を中心とした活動でした。どの学年も、一泊ないしは二泊、寝食を共にして、友達の新たな一面を知ることができたでしょうし、現地の方ともふれあう中で、人とのコミュニケーションの取り方、思いやりの心など、たくさんの学びがあった(ある)と思います。これに加えて、2年生、3年生の宿泊行事では「その土地の自然・歴史・文化を知る」というもうひとつの柱があります。2年生、3年生それぞれに事前学習を重ねて現地に行き、実際に見て、感じ、さまざまな学びがあった(ある)はずです。

宿泊学習を終えて振り返りをする中で、生徒の皆さんにはこんな視点もってみたいと思います。いろいろな地域を訪ね、その地域について理解を深めるということを通して、改めて自分たちの「まち」について考えるきっかけにするということです。皆さんは、自分たちの住んでいるこの地域の自然・歴史・文化やその魅力についてどのくらい語れますか?きっと小学校の時にまちの探検や地域の学習をしてきたことと思いますが、中学生になって、宿泊学習をきっかけに他の地域について学習を深めてみると、じぶんたちの住む「まち」についての見方も変わり、視野も広がってくるのではないのでしょうか。

先日、1年生は地域防災拠点運営委員・西消防署浅間町消防出張所・西区役所など、地域の方々にお越しいただき「防災設備実施体験」を通して、この地域の一員として何ができるか、ということを考えました。皆さんは、これまでもいろいろな場面で地域の方々に見守られ、支えられてきたと思いますが、中学卒業後、そう遠くない未来に地域の担い手となる皆さんが地域の方から学ぶことはもちろん、地域の役に立つこともたくさんあるはずです。今年はいろいろな場面で地域の方々ともふれあう場面も増えてくると思います。校外学習は、学校や地域の外に出ることで、普段の生活や普段生活している地域について考え、気づききっかけにもなります。各学年、学んだことをどう生かすか、今後に期待しています。